

令和6年1月11日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第1週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

【問合せ先】
大阪府医師会・地域医療1課
TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2023年 第52週（12月25日～12月31日）～ 2024年 第1週（1月1日～1月7日）

今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 引き続き増加」

2023年第52週と2024年第1週をあわせて報告する。年末年始休暇による診療実日数の減少を考慮する必要がある。第52週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,771例であり、前週比33.3%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.89、2.78、1.24、0.44、0.31である。

第1週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,088例であり、前週比38.6%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.48、1.53、0.65、0.34、0.23である。

第1週のインフルエンザは25%減の3,572例で、定点あたり報告数は11.67であった。大阪市西部42.60、大阪市北部17.35、南河内15.13、堺市12.24、泉州10.97である。

新型コロナウイルス感染症は第52週は15%増の1,026例で、定点あたり報告数は3.35であった。第1週は41%増の1,444例で、定点あたり報告数は4.72である。大阪市西部12.07、南河内6.00、北河内5.12、豊能4.89、堺市4.86であった。2023年第39週から第52週で、60歳以上の累積入院者数は574例であり、78%を占めている。

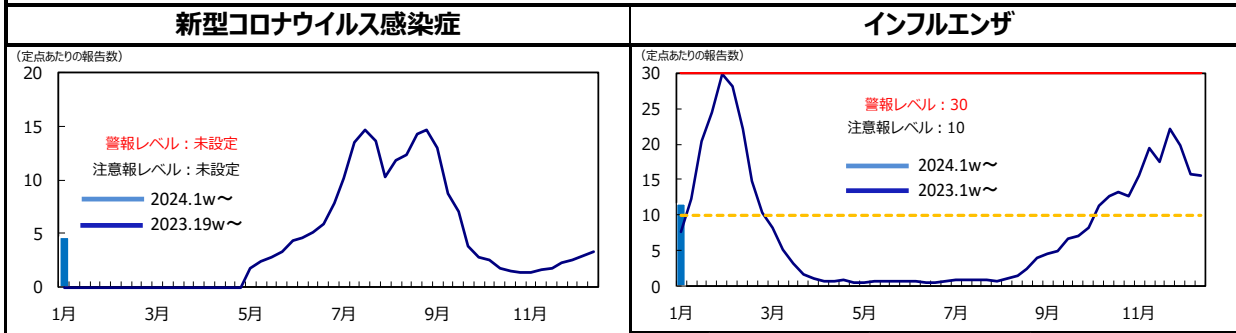


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第1週1月1日～1月7日）

第1週の順位	第52週の順位	感染症	2024年 第1週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第1週の 定点あたり 報告数	2024年第1週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.48	36%減	2.86	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	45%減	0.16	10-14歳_15%
3	3	咽頭結膜熱	0.65	47%減	0.10	2歳, 4歳, 5歳_15%
4	4	手足口病	0.34	23%減	0.14	1歳_43%
5	5	流行性角結膜炎	0.23	25%減	0.08	20歳以上_92%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	11.67	25%減	7.57	20歳以上_51%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	4.72	41%増	-	20-29歳_16%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第1週のコメント

～バンコマイシン耐性腸球菌感染症～ 2023年の大阪府の報告数は、15例であった。

全数把握感染症	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
<p>バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）は、バンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌である。術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、心内膜炎、尿路感染症、敗血症などの感染症を引き起こす場合があるため、集中治療室や外科治療ユニットなど易感染者を治療する部門で問題となっており、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。VREによる術創感染症や腹膜炎などの治療は、抗菌薬の投与とともに感染巣の洗浄やドレナージなどを適宜組み合わせる行う。</p> <p style="color: #0070c0; font-size: small;"> 薬剤耐性菌感染症 -バンコマイシン耐性腸球菌 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (国立感染症研究所) </p>	<div style="text-align: center;"> <h3 style="margin: 0;">大阪府年別累積報告数</h3> </div>

表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第1週1月1日～1月7日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	1					1				1
5類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1							1		1
結核 (2023年11月分)	結核 新登録患者数：77名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 29名) (府内累積報告数 1,021名、内 肺・喀痰塗抹陽性 350名)										

(2024年1月9日 集計分)

感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2024年1月9日

第1週 2024年1月1日～2024年1月7日

(ブロック別)

(年齢別)

ブロック名 定点数 疾病名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部		
	小児科	23	16	25	20	16	19	21	14	10	15	18	197
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
基幹	2	2	2	2	2	2	1	4				17	
インフルエンザ	37	26	41	31	24	29	34	20	15	22	27	306	
小児科 定点 把握 疾患	RSウイルス感染症	0	2	1	3	2	4	1	4	0	2	0	19
	咽頭結膜熱	8	10	27	15	28	12	11	4	3	6	5	129
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	8	54	30	33	14	51	18	26	16	30	302
	感染性胃腸炎	34	40	92	71	52	25	55	39	19	11	50	488
	水痘	5	2	2	1	4	4	3	4	3	1	1	30
	手足口病	4	1	10	7	3	9	13	7	5	4	4	67
	伝染性紅斑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	突発性発しん	2	0	2	2	2	2	3	3	0	1	2	19
	ヘルパンギーナ	4	1	3	1	2	0	1	3	0	0	0	15
	流行性耳下腺炎	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	4
把握 定点 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	流行性角結膜炎	1	0	0	3	0	1	2	2	0	3	0	12
合計	80	64	194	134	128	71	140	84	57	44	92	1088	
基幹 定点 把握 疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0				0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0				0	
イ定	インフルエンザ	328	130	426	236	363	355	373	347	639	175	200	3572

年齢 区分 疾病名	6	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20	合計
	ヶ月未 満	ヶ月未 満	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳か ら 14 歳	歳か ら 19 歳	歳以 上	
R	7	1	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19
咽	2	3	18	19	17	19	19	14	9	1	2	4	0	2	129
A	1	6	12	16	25	24	31	32	31	21	27	44	8	24	302
感	7	33	81	59	52	36	21	28	21	25	12	51	11	51	488
水	0	1	0	3	2	1	3	2	1	3	2	11	0	1	30
手	2	5	29	16	6	3	1	0	2	1	0	0	0	2	67
伝	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
突	0	6	10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
へ	1	2	3	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	2	15
流	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	12
合計	20	57	158	120	107	84	79	78	65	51	43	110	21	95	1088
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	31	52	126	162	155	125	116	85	87	80	93	414	242	1804	3572

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2024年1月9日

(ブロック別)

第1週 2024年1月1日～2024年1月7日

定点数	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
		疾病名																				
	小児科	23	16	25	20	16	19	21	14	10	15	18	85	57	19	12	8	8	8	197		
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
	基幹	2	2	2	2	2	2	1	4				8	4	2	1	2	0	0	17		
	インフルエンザ	37	26	41	31	24	29	34	20	15	22	27	136	84	29	18	13	13	13	306		
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	▽ 0	△ 2	▽ 1	▽ 3	▽ 2	▲ 4	▽ 1	△ 4	▽ 0	△ 2	▽ 0	▽ 4	▲ 6	▲ 4	3	△ 1	0	▽ 1	19		
	咽頭結膜熱	▼ 8	▽ 10	▼ 27	▼ 15	△ 28	▽ 12	▼ 11	▼ 4	△ 3	▼ 6	▼ 5	▼ 53	▼ 18	▽ 12	▽ 9	▽ 7	▼ 6	7	▼ 129	3	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	▼ 8	▼ 54	▽ 30	▼ 33	▼ 14	▼ 51	▼ 18	26	▽ 16	30	▼ 116	▼ 90	▼ 14	▽ 23	▽ 4	▼ 4	▼ 29	▼ 302	2	
	感染性胃腸炎	▼ 34	▽ 40	92	71	▽ 52	▽ 25	▽ 55	▼ 39	▽ 19	▼ 11	50	▽ 173	▼ 119	▽ 25	40	▽ 21	▽ 20	45	▽ 488	1	
	水痘	△ 5	△ 2	▽ 2	▼ 1	△ 4	△ 4	3	△ 4	△ 3	▽ 1	1	▼ 11	△ 9	△ 4	▽ 0	△ 1	△ 2	▲ 2	30	5	
	手足口病	4	▼ 1	△ 10	▼ 7	▼ 3	▽ 9	▽ 13	△ 7	5	4	△ 4	▽ 22	20	▽ 9	5	▼ 0	1	3	▼ 67	4	
	伝染性紅斑	0	0	△ 1	0	▽ 0	0	0	▽ 0	0	0	0	▽ 0	▽ 0	0	0	0	0	0	△ 1	▽ 1	
	突発性発しん	△ 2	0	△ 2	▼ 2	▼ 2	▽ 2	△ 3	△ 3	▽ 0	1	2	7	6	▽ 2	▼ 2	0	△ 1	1	▼ 19		
	ヘルパンギーナ	▲ 4	▼ 1	△ 3	▽ 1	△ 2	▼ 0	△ 1	△ 3	0	0	▼ 0	△ 7	△ 3	▼ 0	0	0	0	▲ 2	▽ 0	15	
	流行性耳下腺炎	0	▽ 0	0	▽ 1	2	▽ 0	▼ 0	▽ 0	1	▽ 0	0	▼ 2	▽ 1	▽ 0	1	0	0	0	▽ 4		
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	△ 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 2		
	流行性角結膜炎	▽ 1	0	▽ 0	△ 3	▼ 0	△ 1	△ 2	▲ 2	0	△ 3	0	2	△ 5	△ 1	△ 3	0	▽ 1	▽ 0	12		
合計		▼ 80	▼ 64	▼ 194	▼ 134	▼ 128	▼ 71	▽ 140	▼ 84	▼ 57	▼ 44	92	▼ 397	▼ 277	▼ 71	▼ 86	▽ 34	▼ 37	▽ 89	▼ 1088		
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎	0	▽ 0	0	0	0	▼ 0	0	0	0	0	0	0	▼ 0	▼ 0	0	▽ 0	0	0	▼ 0		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イ定	インフルエンザ	▽ 328	▽ 130	▽ 426	▽ 236	▽ 363	▽ 355	▽ 373	347	▲ 639	▽ 175	200	▽ 1095	1361	▽ 355	▽ 155	▽ 56	▽ 56	172	▽ 3572		

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2023年52週(12月25日～12月31日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	225
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	23
腸チフス	1
パラチフス	0
E型肝炎	15
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	1
エキノコックス症	0
エムボックス	1
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	2
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	20
デング熱	3
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	0
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	1
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	24
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	5
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	3
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	24
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を)	8
クリプトスポリジウム症	2
クロイツフェルト・ヤコブ病	5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22
後天性免疫不全症候群	12
ジアルジア症	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	10
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	57
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	6
先天性風しん症候群	0
梅毒	138
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	9
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	104612	21.65
COVID-19	27987	5.79
R Sウイルス感染症	189	0.06
咽頭結膜熱	8172	2.65
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11756	3.82
感染性胃腸炎	16830	5.46
水痘	468	0.15
手足口病	889	0.29
伝染性紅斑	43	0.01
突発性発しん	539	0.17
ヘルパンギーナ	86	0.03
流行性耳下腺炎	54	0.02
急性出血性結膜炎	7	0.01
流行性角結膜炎	537	0.80
細菌性髄膜炎	7	0.01
無菌性髄膜炎	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	36	0.08
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3	0.01

定点数	
インフルエンザ/COVID-19	4833
小児科	3081
眼科	671
基幹病院	477

11月(月報)	性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症		2537	2.59
性器ヘルペスウイルス感染症		791	0.81
尖圭コンジローマ		528	0.54
淋菌感染症		823	0.84
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1233	2.58
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		74	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症		5	0.01

定点数	
STD	980
基幹病院	478

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

2024年1月9日

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数

(ブロック別)

第1週 2024年1月1日～2024年1月7日

ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市 北部	09 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	37	26	41	31	24	29	34	20	15	22	27	306
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	181	87	210	77	144	141	135	96	181	99	93	1444
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	4.89	3.35	5.12	2.48	6.00	4.86	3.97	4.80	12.07	4.50	3.44	4.72
52週	3.49	2.81	3.56	2.23	3.63	4.45	2.68	3.90	6.53	3.91	1.48	3.35
51週	2.32	2.50	3.24	2.55	3.29	3.31	3.26	2.50	3.20	2.68	3.22	2.92
50週	2.00	1.92	2.68	2.19	2.71	3.00	2.68	2.55	2.53	3.00	2.33	2.49
49週	2.46	1.58	2.02	1.74	2.21	2.69	2.50	2.85	2.07	2.95	2.11	2.27
48週	1.43	1.73	1.73	1.55	1.71	2.59	1.91	2.20	1.73	1.91	1.78	1.82

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	65	99	31	97	229	190	177	203	118	111	124	1444
	5%	7%	2%	7%	16%	13%	12%	14%	8%	8%	9%	